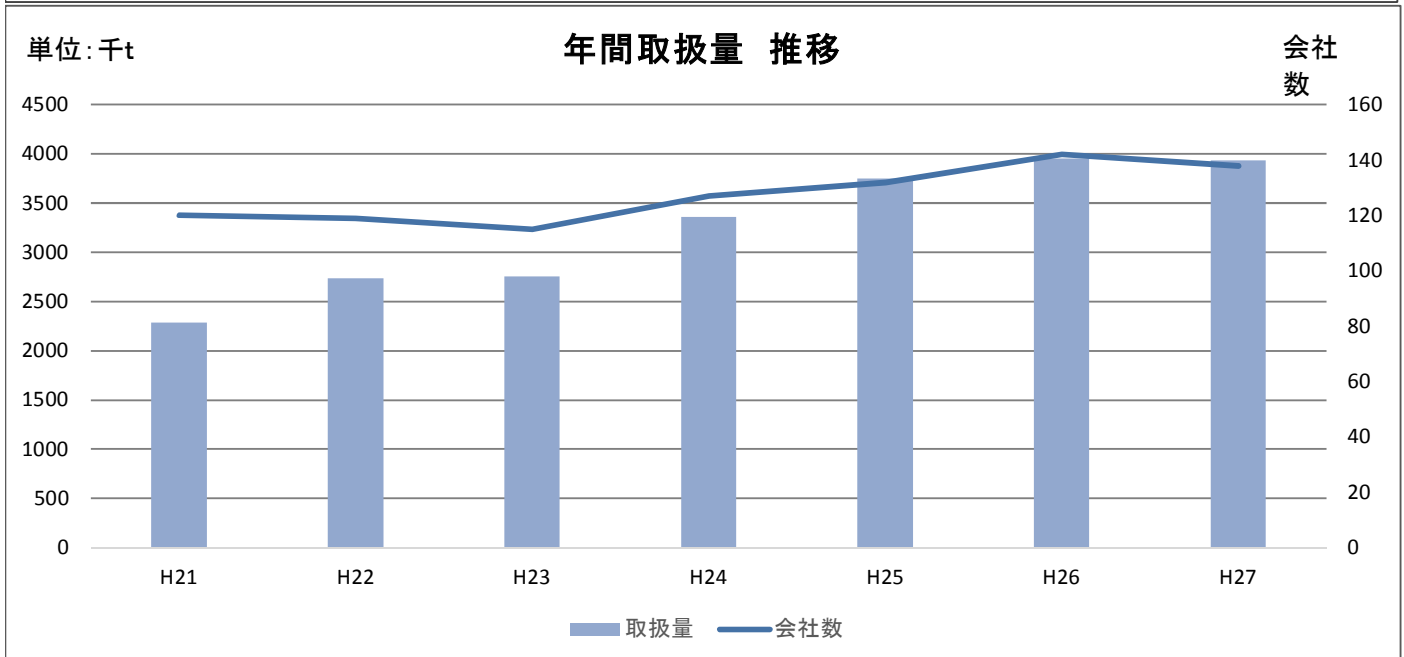
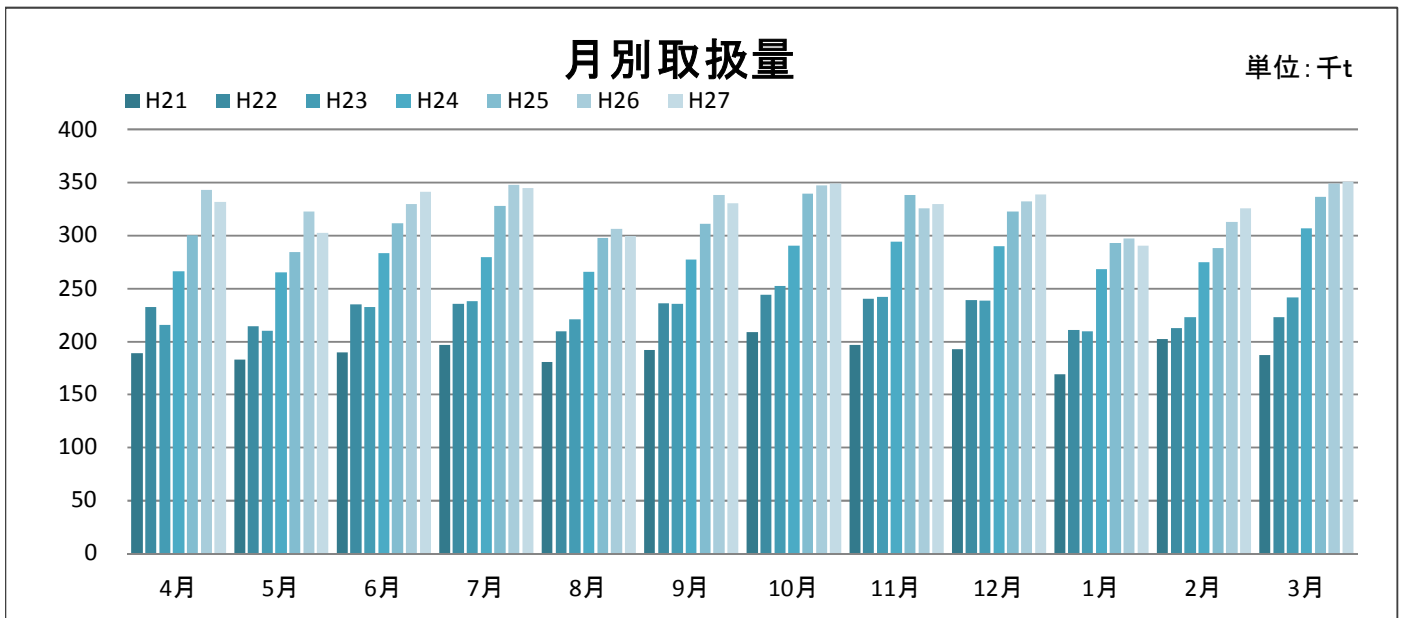


平成28年度木質チップ等生産会員実態調査結果

平成27年度各協会別 取扱量(出荷量) H27.4~H28.3 単位:千t

	北日本協会 49社	関東協会 54社	東海協会 11社	近畿協会 8社 入荷量	中四国協会 10社	九州協会 6社	合計138社
4月	58	148	54	40	5	26	331
5月	53	137	46	37	5	25	303
6月	57	154	57	40	6	27	341
7月	61	155	57	39	7	26	344
8月	52	129	49	36	5	28	299
9月	57	146	55	37	6	29	330
10月	62	159	55	40	6	27	349
11月	55	151	57	36	5	25	329
12月	58	153	56	38	5	28	339
1月	51	127	50	33	5	25	290
2月	51	150	56	36	5	28	325
3月	60	156	60	42	6	28	351
合計	674	1,764	654	455	66	319	3,932

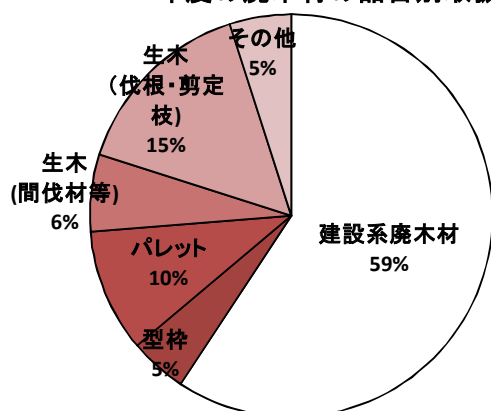


全国木材資源リサイクル協会連合会地域協会会員品目別取り扱ひ量(H27年度) 単位:千t

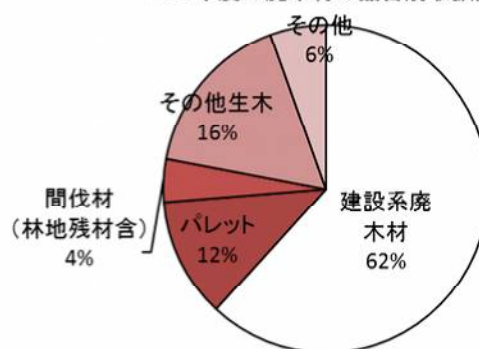
	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	全国
有効回答数	35	39	11	8	10	6	109
建設系廃木材	245	869	403	352	38	179	2,085
型枠	12	76	33	28	3	11	162
パレット	31	148	76	44	9	39	347
生木 (間伐材等)	118	48	28	5	10	9	218
生木 (伐根・剪定枝)	119	224	84	25	8	73	533
その他	32	120	7	1	1	13	174
合計	556	1,486	630	455	69	324	3,520

入荷量より算出

H27年度の廃木材の品目別取扱割合



H26年度の廃木材の品目別取扱割合



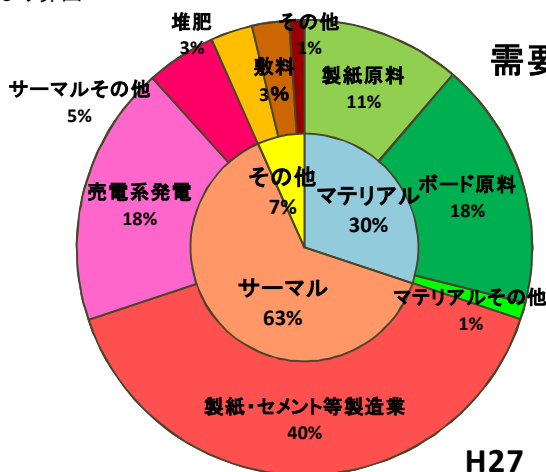
生産割合について(H27年度)

単位:千t

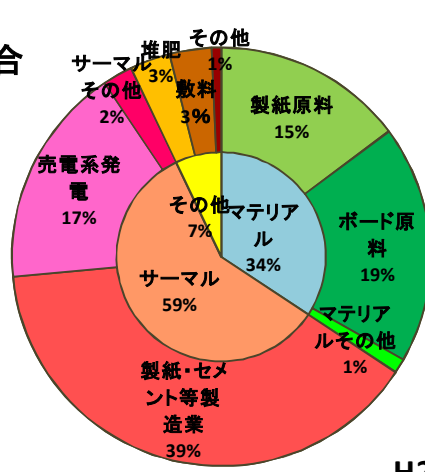
	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計(全国)
有効回答数	35	39	11	8	10	6	109
全体量	506	1,455	654	473	66	319	3,474
製紙原料	62	60	134	126	11	0	393
ボード原料	90	214	56	140	16	97	612
その他マテリアル	3	7	1	24	4	2	41
製紙・セメント等製造業	194	612	390	88	8	90	1,381
売電系発電	75	444	6	43	21	54	644
その他サーマル	21	6	40	42	4	57	171
堆肥	28	50	14	9	1	2	103
敷料	16	54	9	1	0	11	92
その他	18	7	5	0	1	6	37

出荷量より算出

需要先の生産割合

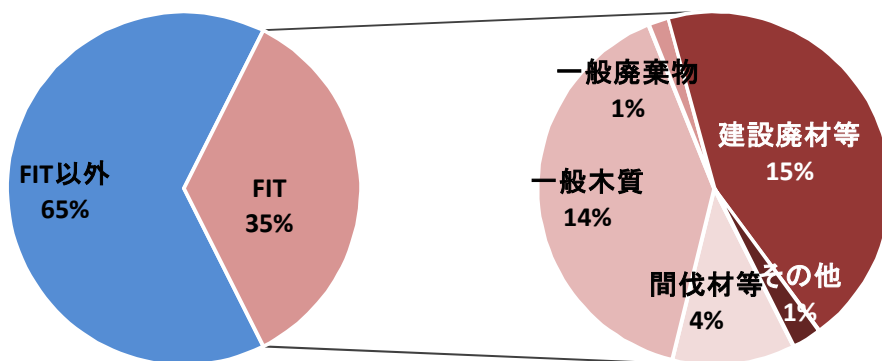


H27



H26

売電系発電への販売現況



単位:千t

	合計(全国)
有効回答数	65
FIT以外計	338
FIT計	184
間伐材等	21
一般木質	74
一般廃棄物	3
建設廃材等	81
その他	5

合計	521
----	-----

メーカー又はユーザーへの要望事項

- 生木関係の入荷割合が増えており、出荷チップにおいての混合を今後できないものか検討いただきたい。
- ユーザーへの要望:1年を通し安定したチップの受入れをお願いしたい。
- 定修時、生木チップの受入れを検討していただきたい。
- 生木・剪定枝等チップの使用を拡大していただけると燃料供給がさらに安定すると思う。
- 現在FITでの荷受を行っている事業所での買取価格が他の自家発電の為の事業所と変わらずFITの付加価値が無
- 安定的な需要
- チップ製品納入に関する、品質強化と購入市況に於ける公平化の維持及び当チップ連合会との関係強化を諮り、お互いにwin/winの関係を保つよう努力して欲しい。
- 乾燥設備の設置、施設、設備内での搬送トラブルの軽減
- ユーザー間での設備定期点検時期の調整

連合会への要望事項等

- 北日本木材資源リサイクル協会への要望:
木くず処理料金は地域ごとに大きく異なっており、特に新潟エリアにおいては価格(単価)が低く過度な廉価は不法投棄に繋がる可能性が高い。リサイクルにあたり適正な処理単価が必要であることの情報発信をお願いしたい。
- カヤの取り扱いについて一般廃棄物 → 産業廃棄物(家の解体から出ます)に進言願いたい。
- 母材のカスケード利用が理念に掲げられているが、北関東地区委員会においては、燃料メーカーと燃料ユーザーの情報交換が主体になっているとの報告がある。マテリアルを優先させる施策を強化して欲しい。
- 昨年同様に本来の森林材活用をベースとした発電事業がなされ、既存の廃木材チップ市況に浸食等の影響がないよう注視して、各関係方面へのアピール・調整を行って欲しい。
- 現在、連合会に加入している事業所へのFITへの優遇
- 震災発生時における連合会及び各協会の役割・体制の確立

合板型枠、建設廃木材・果樹剪定枝等の有価取引に係る最新の情報

- 今のところ変化を感じるようなところは実務では生じていない。